



記者発表資料

首都国道事務所発注工事において、「見積活用方式」「間接工事費実績変更方式」を試行し、「難工事指定」、「余裕期間制度」を採用します。

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調不落対策を試行しております。

今回発注する「R3国道14号亀戸小松川立体松島地区改良工事」について、別紙のとおり不調・不落対策を試行及び採用します。

①「見積活用方式」

本工事は、市街地であり現道交通及び沿道店舗等の出入りを確保しながら狭隘な作業ヤード内での施工となるため、作業効率が低下することが懸念されます。

このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

②「間接工事費実績変更方式」

本工事は、運搬費・安全費において、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、その妥当性を確認のうえ、実績により共通仮設費（率分）を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

③「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加点対象とする「難工事指定」を採用します。

④「余裕期間制度」

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事です。

余裕期間内は、主任（監理）技術者の配置を要しません。また、現場に搬入しない資機材等の準備を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等の工事の着手を行ってはなりません。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、都庁記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 首都国道事務所

電話 047-362-4111（代表）

副所長 かりゆう 狩生 まさひこ 正彦 工務課長 こばやし 小林 けんじ 謙二

《工事概要》

- (1) 工事名：R3国道14号亀戸小松川立体松島地区改良工事
- (2) 工事場所：東京都江戸川区松島1丁目地先
えどがわ まつしま
- (3) 工期：令和4年5月1日から令和4年9月30日まで
(余裕期間：契約締結日の翌日から令和4年4月30日まで)
- (4) 入札方式：一般競争入札総合評価落札方式（施工能力評価型Ⅱ型）
- (5) 工事種別：一般土木工事C
- (6) 工事内容（概要）：

道路改良

道路土工	1式
流動化処理	1,830m ³
舗装工	1式
車道舗装工	295m ²
歩道舗装工	423m ²
自転車道舗装工	414m ²
注意喚起舗装工	10m ²
擁壁工	1式
場所打擁壁工（逆T型）	1箇所
場所打擁壁工（L型）	18m ³
コンクリートブロック基礎	95基
プレキャスト擁壁工（逆L型）	58m
重力式擁壁	27m ³
排水構造物工	1式
道路照明設備工	1式
構造物撤去工	1式

《見積活用方式》

○見積の提出を求める工種

直接工事費の「舗装工」「擁壁工」「排水構造物工」のうち、対象とする細別に係わるもの。
見積書は、公告資料にある見積依頼書に従い提出を求めるものとします。

○見積の提出を求める理由

施工にあたっては、工事区間内に存する親水公園の園路通行を確保しながら限られた狭隘な施工ヤード内での施工とならざるを得ず、作業効率が低下することが懸念されます。

このため、標準的な積算と実施価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

《間接工事費実績変更方式》

○実績により変更を行う工種

- ・ 共通仮設費（率分）のうち、「安全費」、「運搬費」

○実績により変更を行う理由

工事箇所は、沿道全域に店舗・住宅等が連坦し施工ヤードも狭小な箇所です。

安全費について、生活道路にもなっている親水公園園路利用者の安全な通行空間を確保するために交通規制帯をこまめに分割して施工しなければならないことから、標準的な積算との乖離が想定されます。

また運搬費について、施工ヤードが狭小で、沿道全域に店舗・住居等が連坦することから施工箇所周辺に資材置場の確保が困難であり、その都度資機材の搬入が必要となるため、標準的な積算との乖離が想定されます。

以上により、「安全費」、「運搬費」について、間接工事費実績変更方式を採用します。

《難工事指定》

本工事は、限られた狭隘な作業ヤード内で他工事と競合した施工になることから厳しい工程調整、工事調整が必要であるため、「難工事指定」を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《余裕期間制度（発注者指定方式）》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事です。発注者が工事の始期をあらかじめ指定しているため、工事の始期までの間は余裕期間となります。

（余裕期間：契約の翌日から令和4年4月30日まで）

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《スケジュール》

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| ○入札公告、入札説明書、見積依頼書 交付 | ： 令和4年 2月 1日（火） |
| ○競争参加資格確認申請書、見積書の提出期限 | ： 令和4年 2月16日（水） |
| ○競争参加資格確認資料、入札書及び工事費内訳書 提出期限 | ： 令和4年 3月 3日（木） |
| ○開札日 | ： 令和4年 3月18日（金） |